

いのち

第67号

ご自由にお持ちください

人に尽くし、研鑽を積み、信頼と喜びを明日へ



井上記念病院

院長交代のお知らせ

2025年4月1日付で、森嶋友一が新たに院長に就任いたしました。

前院長兼理事長の中村博敏は、理事長として引き続き病院運営に努めてまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



理事長のご挨拶



中村 博敏

当院の歴史は古く、開設は大正時代、1916年になります。現在の千葉大学医学部の初代内科教授だった井上善次郎先生が「井上診療所」として開設して以来、常に地域の皆様とともに成長し、1994年に病院を立て替えた際に「井上記念病院」と名前を新たにしました。2016年に100周年を迎えて、現在に至っております。開設当初とは医療を取り巻く環境は大きく違いますが、100年余りにわたり、地域に根付いた病院として医療を提供してまいりました。

近年、少子高齢化が急速に進む中で、住み慣れた街でそれぞれの能力に応じて自立した生活を営むことができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が進んでおり、医療は機能分化と連携の時代を迎えております。

当院は、外来・入院機能とともに、健康管理センターを有しており、入院機能では、一般床の他、地域包括ケア病棟や療養病棟を有し、急性期の患者さんのみならず、亜急性期から、回復期、慢性期までの患者さんの治療にも力を入れて取り組んでいます。

診療科も、内科・外科・乳腺外科・整形外科・泌尿器科・皮膚科・眼科・リハビリテーション科・放射線科から構成されており、各科がそれぞれ特徴のある診療を行い地域に貢献しています。

「人に尽くし、研鑽を積み、信頼と喜びを明日に」の病院理念のもと、地域の皆様のニーズに応え、良質な医療を効率的で効果的に提供できるよう、職員一同努力を続けてまいります。今後ともご支援の程を宜しくお願い申し上げます。



院長のご挨拶



森嶋 友一

令和7年4月1日付で、歴史と伝統のある井上記念病院の院長を拝命しました。前任地、国立病院機構千葉医療センターでは外科医として、また病院幹部、経営者として様々な面から地域医療に従事してまいりました。引きつづき地域医療に全力を尽くす所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

当院は決して大きな病院ではありませんが、高齢化社会に対応した急性期から慢性期までの病床配分となっております。千葉市内では最も歴史のある民間病院として外来・入院診療だけでなく、健診、訪問診療に対しても力を入れ、あらゆるニーズにお応えできる病院であると考えます。そうは申しまでも、現代の医療は高度に専門分化し、地域医療システムの中で役割分担が求められており、当院も例外ではなく千葉医療センターや千葉大学病院等の基幹病院とは密接な連携をしております。前職では長く地域連携室長を務め、多くの施設と関わりを持ち、地域連携の重要性を意識してまいりました。

当院の強みは、地域での信頼関係と専門病院にはない間口の広さだと思います。診療科の数は多くはありませんが、専門性を持って地域医療に貢献してまいりました。課題としては、急性期病院としての役割をどのように考えていくか、高齢の患者さんの救急受診が増えており、避けて通れない問題です。応需率を上げるべく、体制作りに努めてまいります。

最後になりますが、医療の原点であり、医療人の喜びは、困っている患者さんを助けることと強く信じております。「まずは井上記念に行ってみよう」、地域住民の方々にそう言われるよう、引きつづき職員一同努力してまいります。

病院長略歴

1985年	千葉大学医学部卒業 千葉大学医学部第一外科（現臓器制御外科）入局
1993年	千葉大学医学博士号取得
1997年	国立千葉病院外科（現 国立病院機構千葉医療センター）入職
2008年	国立病院機構千葉医療センター外科医長
2014年	同センター病棟管理部長
2017年	同センター統括診療部長
2019年	同センター副院長
2022年	同センター院長
2024年	同センター名誉院長 院長補佐 就任
2025年	井上記念病院院長

自動精算機を導入しました

自動精算機を導入しました。今後は一部の方を除き、自動精算機でのお支払いをお願いいたします。操作方は、画面に表示されますが、操作が不安な方、操作方法がわからない場合は、遠慮なく職員へお声かけください。

なお、お支払い後に、領収書と診療明細書が出てきますので、釣銭とともに、お取り忘れないようお願いいたします。

※診察室でお受け取りになった、処方内容控え又は処方せんは、調剤薬局へご提出ください。

【お支払いの流れ】

① 【会計窓口】

①診察後、基本票(又は検査予約票)を会計窓口にご提出ください。



②【会計表示モ二ター】

②会計表示モニターに呼出番号が表示されましたら、自動精算機でお支払いをお願いします。

※一部の方は会計窓口でお支払いいただく場合があります。



③ 【自動精算機】

③お支払い後、ご帰宅となります。
尚、おくすりのある方は、調剤薬局
へ処方内容控え又は処方せんを
ご提出ください。



当院は電子処方箋発行施設になりました

3月5日(水)から、当院では常勤医師を中心に、原則として電子処方せんを発行することになりました。

これにあわせ、診察室で『処方内容控え』又は『従来通りの処方せん』をお渡しいたしますので、従来通り、調剤薬局へお持ちください。

ページ 1 / 1

処方内容 (控え)

引換番号 : 1 2 3 4 5 6



※パソコン画面から印刷することになります。印刷後患者さまにお渡しください。

氏 名	発行年月日	発行数量
高木 太郎	2023年 3月 01日	60 日分

印刷履歴: 印刷年月日 印刷枚数 4月 10枚

【医師情報】 0001 133-1-1234567
 〒100-0001 東京都港区千代田 1-2-3 456 号

医療法人GCO 高木 研吉

TEL 03-0000-0001

FAX 03-0000-0000

(処方医氏名)

(処方 太郎)

【処方内容】

R001	アムロジウム錠 5mg (医療用)	9 g	7 日分
R002	【B】 カルシウムシタラート 0.05 g	3 瓶	7 日分
R003	【B】 アセチルサリチル酸錠 0.05 g	1 瓶	
R004	【B】 レバミド錠 0.05 mg	3 瓶	10 日分
R005	ダントレン軟膏 0.1% 1 mg	10 g	

処方番号 001 1 2 3 4 5 6 7

処方年月日 2023 年 3 月 01 日

処方数量 60 日分

処方医氏名 高木 研吉

処方医資格番号

※従来通りの処方せんを希望される方は診察前に各科受付スタッフへお申し出ください。

※処方内容控え(電子処方せん)の場合、調剤薬局が電子処方せんに対応している必要がありますので、ご注意ください。

※都合により、医師によっては従来の処方せんとなります(非常勤医師の多くは、当面従来の処方せんとなります)。

※自賠責、労災保険、自費診療は、従来の処方箋となります。



医療法人社団 普照会

井上記念病院

広報誌「いのうえ」

企画編集／井上記念病院広報委員会

発行／井上記念病院
発行日／令和7年4月日

260-0027

千葉市中央区新田町1-16

TEL 043-245-8800 FAX 043-244-6200

<http://www.inouemh.or.jp>